



精神科医 瀬戸 昶

アイヒマンと日大アメフト問題及び日本の政治の違い

アドルフ・アイヒマンは57年前の今日これを書いて
いる5月31日絞首刑となつた。
600万人のユダヤ人を虐殺した責任者の一人として。
アイヒマンは裁判の中で、
全て上から命令で行い、
それに従うことが自分の任務と主張し続けた。

折も折、日大アメフト部問題が表に出た。当事者である宮川泰介選手は、記者会見で監督、コーチの指導のもとに行った行為であるが、
自分自身がその善悪を人殺せといわれれば殺さ

ざるを得ない。今の日本は、この軍隊のような組織に変わってきたといえる。一人でも二人でも、この勇気ある宮川泰介選手や前川氏（文部科学前事務次官）のような人が出てくるべきであろう。権力者のいう通りに自分や家族を守るのではなく、時によっては、それを振り切ってまで真実をいう勇氣を持つことが国民一般に求められる時代になっている。そうでなければ、この日本は戦前の日本に逆戻りし、異を唱える者は非国民として断罪される時代に逆行してしまつて

考えずに、あのラフプレーを犯したのに問題があり、最終的に自分自身の責任であると率直に述べた。しかし、監督やコーチは指導を認めず、責任を回避した。また、モリカケ問題で揺れる政治の場ではどうか？柳瀬元首相秘書官とか、今井総理秘書官とか、多くの官僚が安倍を守る為に嘘の発言をし続けるこの日本と、アイヒマン型人間が日本の政治や社会を支配し続けていることが現状なのだと痛感させられる。



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア
越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎048-965-1151